

養豚研究所 ～研究領域：養豚～

◆主な研究課題・事業◆

課題1 県産地域飼料原料の活用技術の開発による低コスト化

飼料自給率の向上と飼料費の低減を図るため、県産飼料原料の積極的な活用を目的とした技術開発を行うとともに、これらの飼料が肉質等に及ぼす効果について解明します。



県産飼料原料を活用した飼料（酒粕ペレット）を食べる育成豚

課題2 プロバイオティクスを活用した生産性向上技術の開発

農場内に常在する病原菌は肺炎や下痢などの原因となり、子豚の発育成績を低下させています。

そこで、プレ・プロバイオティクスを含む発酵飼料を給与することで腸内環境を改善し、免疫力の向上と発育成績の改善が可能となる技術の確立を図ります。



酒粕（酵母・麹菌を含む）

粃米 SGS（乳酸菌を含む）

課題3 暑熱ストレス低減のための飼養管理手法等の開発

養豚経営において暑熱ストレスによる畜産物の生産性低下が課題となっていることから、夏季の繁殖成績悪化を防ぐため、現場において導入可能な簡易的に取り組める冷却手法を開発します。



暑熱ストレス緩和のため送風を受ける雌豚

事業 豚改良増殖対策事業

開放型育種手法により開発した改良型ガッサンエル（ランドレース種）およびデュロック種の利用拡大を推進するとともに、豚産肉能力検定の分析・活用による種豚選抜を行い、改良の効率化を図ります。

また、優良な種雄豚の人工授精用精液等を養豚農家に供給し、県産豚肉の品質の維持向上に取り組んでいます。

対象品種：デュロック種、バークシャー種、ランドレース種、大ヨークシャー種



改良型ランドレース種豚